### nslookup

ドメインフィールドで指定された値を読み取り、ドメインアドレスのクエリを実行し、その結果を表示します。

#### 構文

nslookup ns=IP\_ADDR [OPTIONS] DOMAIN\_FIELD output FIELD, ...

必須パラメータ

**ns=IP\_ADDR**

DNSサーバーのIPv4またはIPv6アドレス

**DOMAIN\_FIELD**

ドメイン名フィールド

**output FIELD\_LIST**

DNS応答から取得するフィールドをカンマ（,）で区切って指定します。以下から選択して入力してください。

* additionals: その他の情報
* answers: DNSサーバーの応答結果
* authorities: ドメインレコードを管理するDNSサーバー（オーソリティサーバー）の情報
* flags: リクエスト／レスポンスメッセージのフィールドコントロールフラグ値（出力フィールドには以下の内容が表示されます）
* AA: ドメインアドレスに対して権限を持つサーバー
* TC: メッセージが長すぎて切り捨てられた
* RD: 再帰的クエリが要求された
* RA: 再帰的クエリが可能
* ip: IPv4またはIPv6アドレス
* status: クエリ実行結果（エラーがある場合はエラーメッセージを表示）
* FORMAT\_ERROR: クエリ内容に誤りがあり、サーバーが処理できない
* NAME\_ERROR: クエリ対象のドメインアドレスが存在しない
* NO\_ERROR: エラーなし（0）
* NOT\_IMPLEMENTED: DNSサーバーが未対応
* REFUSED: DNSサーバーが応答を拒否
* SERVER\_FAILURE: サーバーエラーによりクエリを処理できない

オプションパラメータ

**cache=INT**

DNS応答キャッシュサイズ（デフォルト: 1048576、約1MB）

**timeout=INT**

DNS応答のタイムアウト時間（デフォルト: 5、単位: 秒）

**type=TYPE**

DNSサーバーにクエリするDNSレコードタイプ（デフォルト: A）。以下のいずれかを指定：

* A: クエリ対象ドメインアドレスに紐づくIPv4アドレス
* AAAA: クエリ対象ドメインアドレスに紐づくIPv6アドレス
* CNAME: カノニカルネーム。他のドメイン名のエイリアスアドレス
* MX: 指定したドメイン名宛のメールを受信するサーバー
* NS: ドメインアドレスを管理するDNSサーバー情報
* PTR: 逆引きDNS検索に使用されるカノニカルネームポインターアドレス
* TXT: 人または機械が読み取れるテキスト情報

#### 使用例

spamhouseテーブルの**domain**フィールドに記録されたドメインアドレスについて情報を取得

table spamhouse| nslookup timeout=5 ns="8.8.8.8" domain output ip, status, flags, answers, authorities, additionals

#### 互換性

nslookupコマンドは、ENT #2309 2019-11-27\_10-43バージョン以降でサポートされています。